

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	広域避難小委員会		主 査 名：糸井川栄一 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：田中哮義
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	地震火災リスクが厳然たる事実として存在することを前提とした広域避難に関して再考し、今後の広域避難計画のあるべき姿について検討を行う <ul style="list-style-type: none"> ・特に現代都市における地震火災による広域避難リスクの分析 ・災害事例における延焼火災による死因の再分析 ・行政が策定する広域避難計画の問題点の整理 ・を論じることが目標である。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり 糸井川栄一 (筑波大学)、加藤孝明 (東京大学)、岩見達也 (国土交通省国総研)、廣井悠 (東京大学)、関沢愛 (東京理科大学)、室崎益輝 (関西学院大)、吉川仁 (防災アード都市づくり)、西田幸夫 (東京理科大学)、江田敏男 (構造システム)、竹谷修一 (国土交通省国総研)、梅本通孝 (筑波大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)</p>	<p>2011 年度活動計画と達成度</p> <p>1. 広域避難対策に関する学術研究の到達点の把握：広域避難の意思決定、避難行動に関する研究レビュー 古典的な広域避難計画／都市防災構造化に関する文献レビューを行い、その考え方や想定する被災状況等について概念整理を行った。</p> <p>2. 大都市における広域避難計画，対策における現状の課題の整理 大学での授業として広域避難問題をどのように扱っているか、筑波大学での事例を題材として、大都市における広域避難計画，対策における現状の課題の整理の方法について議論した。</p> <p>3. 延焼火災による死者発生に至るメカニズムの解明 延焼火災に留まらず、大規模災害時の広域避難に際しての人的被災に関して整理し、関東大震災の避難に関する調査研究の整理の必要性、東日本大震災と津波避難の関係、大規模水害からの避難、帰宅困難者と広域避難の関係、等について研究課題を整理した。</p> <p>上記の議論・検討結果の成果を受けて、2012 年度大会において「広域避難計画を再考する」と題した PD を実施することとした。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. 東日本大震災における津波避難を中心とした避難実態の解明が急務</p> <p>2. 「広域避難」に関する住民のイメージ、防災意識等について調査することの必要性</p> <p>3. 広域避難体系としての規範と実態の対応に関する調査の必要性</p>